

# 千葉県柏市

## 「健康情報の見える化を通じた総合健康支援」 (柏の葉スマートシティプロジェクト)

実施団体:千葉県柏市、スマートシティ企画(株)、(株)エムティーアイ、三井不動産(株) 等

### ■ 健康見える化サービスの導入により、住民の健康意識を大きく改善し、将来的な医療・社会保障費の削減に繋げる。

活動量計を通じて、日々の健康情報(運動頻度、消費カロリー、体重、体脂肪率等)を収集・可視化。住民モニターに対するアンケートの結果、9割以上が健康に対する意識を向上。

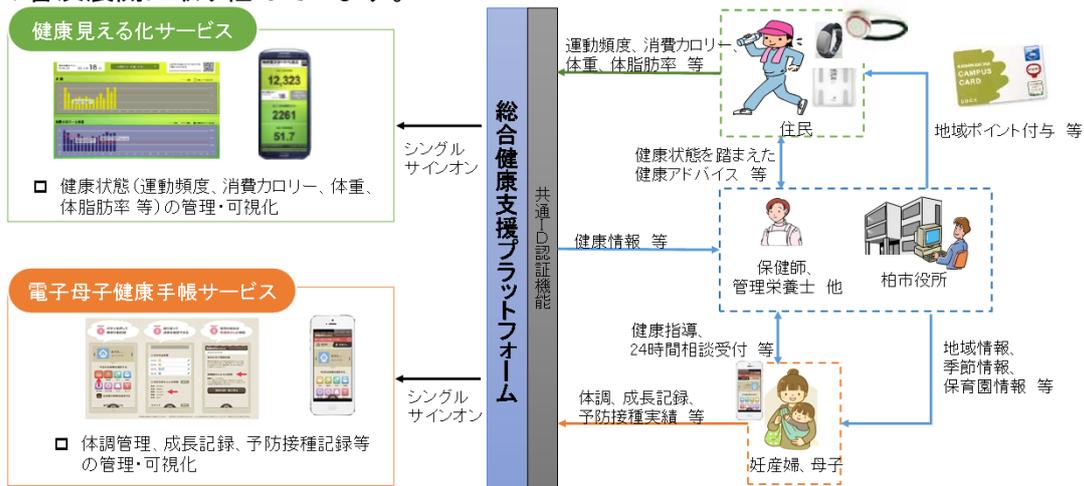
### ■ 電子母子健康手帳サービスの導入により、出産・子育て世代の利便性を向上。

スマートフォン等で、自らの健康状態や乳幼児の成長記録、予防接種・定期検診の情報を簡易に管理。住民モニターに対するアンケートの結果、5割以上が有償サービスでも事業継続を希望。

### 事業の概要

「柏の葉スマートシティプロジェクト」は、すべての世代が健やかに安心して暮らせる「健康長寿都市」を街づくりのテーマの1つとして、ICTの活用を通じて日々の健康状態や体調変化の見える化、妊産婦の体調管理・子育て中の母親の育児を支援する取組を推進しています。

また、街づくりに多くの民間企業が参画した街づくりコンソーシアムを形成し、当該コンソーシアムが柏市と連携しながら他地域への普及展開に取り組んでいます。



### <健康見える化サービス>

ウェアラブル型の活動量計や体組成計を通じて日々の健康情報(運動頻度、消費カロリー、体重、体脂肪率等)を収集し、スマートフォンアプリ等を通じて、収集した健康情報に基づき、自身の健康状態や体調変化を可視化する仕組みを構築しました。

また、蓄積した健康情報については、市の保健師等による健康アドバイスにも活用され、効果的な健康支援を実現しています。



各デバイスから収集される健康情報

### <電子母子健康手帳サービス>

妊産婦や子育て中の母親が、自らの健康状態や乳幼児の成長、予防接種や定期健診の記録をスマートフォン等で管理できる仕組みを構築しました。

また、市からの定期健診や保育園の空き情報に関するお知らせ等を定期的に受け取ることや市の保健師等へのオンラインでの健康相談を行うこともできます。

健康見える化サービスと合わせて利用することで、定期健診の際に、日々の健康状態や体調変化を踏まえた総合的なアドバイスを受けることも可能となりました。



健康見える化サービスと連携した総合的な健康支援

- 実証事業に対する感想を教えてください -

柏の葉地区では「公」(千葉県、柏市、NPO)・「民」(企業、市民)・「学」(東京大学、千葉大学)の連携をベースとした、オープンなプラットフォームに基づく街づくりを推進しております。

そのなかでも「健康長寿都市」をテーマとした本事業においては、少子高齢化という日本の普遍的な課題の解決と、柏の葉地区に多く住まわれている出産・子育て世代の支援を両立させるために、柏市と街づくりコンソーシアムとがお互いに知識を出し合い、行政サービスと民間サービスとを融合させる形で事業の具体化を進めてきました。

今回の事業を通じて、健康見える化サービスについては、モニターの9割以上の方が健康に対する意識を向上させ、電子母子健康手帳については、5割以上の方が有償でも事業継続の意思があるという結果になり、当初想定していた以上の成果を得ることができ、非常に嬉しく思っています。

電子母子健康手帳サービスについては、平成27年4月より市内全域を対象にサービス提供を開始しました。この柏の葉地区での取組成果を、市内全域、更には同様課題を抱える他地域に向けて普及展開を推進していきたいと考えています。



企画部 参事 奥山 勤也 氏

- 成功のポイントを教えてください -

本事業の特徴としては、多くの企業が参画した街づくりコンソーシアムが主体となって事業に取り組んでいることが挙げられます。

通常、このような場合は各企業のビジネスの目的の違いに起因して、方向性を合わせることに苦労しますが、コンソーシアムや他地域の関係者とも議論を数多く重ね、「オープンなプラットフォーム」というコンセプトの下で、一丸となれたことが大きな成功のポイントだったと思います。

また、柏の葉地区では地域住民やNPOが主体となったクラブ活動「まちのクラブ活動」が盛んであり、このクラブ活動と本事業の健康見える化サービスとをうまく連携させ、地域住民の方々により浸透しやすい形で事業に取り組みしたことも成功のポイントの1つになるかと思えます。

今後も、地域ポイント制度をはじめとする、地域の中でうまく循環する仕組みの活用を通じて、自立的・持続的な街づくりを推進していきたいと考えています。

Point

- ✓ 多くの企業が参画した街づくりコンソーシアムとのコンセプトの共有
- ✓ 地元クラブ活動との連携や地域ポイント制度の活用

今後の課題

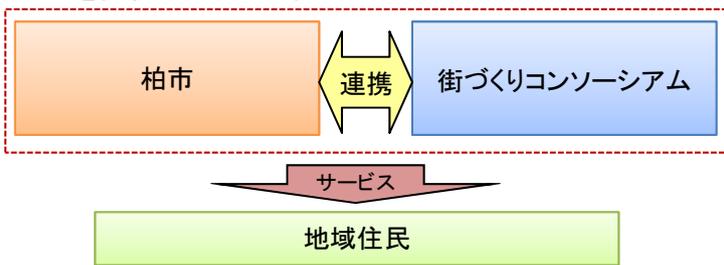
医療・社会保障費の削減に向けた、健康見える化サービスの機能拡充

対策・展望

医療機関等とも連携し、地域サービスとして健康支援を包括的に実施することを検討

事業実施体制

柏市と街づくりコンソーシアムとが連携してプラットフォームの維持・管理を担当し、地域住民に対してサービスを提供しています。



導入/運用費用

導入費用  
●健康見える化サービス： 3000円程度/人  
〔内訳 ウェアラブル活動量計等機器 3000円程度〕

●電子母子健康手帳サービス： 無料※  
〔※ 街づくりコンソーシアムのメンバーである(株)エムティーアイが「hahaco」としてサービス提供しており、一部機能を除いて無料で利用可能。〕

運用費用 無料

お問合せ先

千葉県柏市は、千葉県の北西部に位置し、中核市、業務核都市に指定され、都心通勤者のベッドタウンとして、人口が増加しています。

平成23年には、地域活性化総合特区、環境未来都市のダブル指定を受け、「環境共生都市」「新産業創造都市」「健康長寿都市」をテーマとして、国の支援も受けながら世界にその街づくり成果を発信する役割を担い、国内外から年間800回以上の視察を受け入れています。



まちの健康研究所 あ・し・た

